

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明することができる。				
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡邊　一仁		実務経験	○	
実務内容	美容室にて美容師として15年勤務し、大手美容室にて副店長も経験。保健、運営管理の教員資格を有しておりこれらの経験を基に、国家試験に必要な保健知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説			
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説			
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～6章)	神経系、血液・循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説			
4	人体の構造および機能の復習 (第7章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説			
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造			
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)			
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(皮脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系			
8	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能			
9	総まとめ	テストを実施する			
10	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健			
11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 (皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹)			
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(日光皮膚炎～分泌異常による疾患)			
13	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患)			
14	解説 皮膚科学(第6章)	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍			
15	総まとめ	総まとめを行う			

16	皮膚科学の復習(第1章～2章)	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習(題3章～4章)	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 朋美		実務経験		○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として5年勤務をした実務経験を基に、国家試験に必要なファッション史の知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)		明治・大正・昭和の髪型・服装について		
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)		明治・大正・昭和の髪型・服装について		
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)		明治・大正・昭和の髪型・服装について		
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)		明治・大正・昭和の髪型・服装について		
5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)		現代Ⅰ(1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について		
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)		現代Ⅱ(1960～1970年代)の髪型・化粧・服装について		
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)		現代Ⅲ(1980～1990年代)の髪型・化粧・服装について		
8	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)		現代Ⅳ(2000年代以降)		
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装		和装の礼装について		
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装		和装の礼装について		
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装		洋装の礼装について		
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装		洋装の礼装について		
13	まとめ		まとめを実施する		
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節		テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について		
15	総まとめ		総まとめを行う		

16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		1 30
使用教材	運営管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場を理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡邊 一仁		実務経験	○	
実務内容	美容室にて美容師として15年勤務し、大手美容室にて副店長も経験。保健、運営管理の教員資格を有しておりこれらの経験を基に、美容経営に必要な知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	イントロダクション		講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する		
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節		経営とは何か・継続企業の原則,経営の必要性を理解する		
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節		経営資源と経営計画を理解する		
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節		経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する		
5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節		業界の概要について/競争の変化を理解する		
6	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節		サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する		
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節		資金管理の重要性和資金の流れを把握/収支と損益を理解する		
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節		収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する		
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節		税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する		
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節		税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する		
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源		人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61		
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現		健康・安全な職場環境の実現①健康診断		
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現		健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題		
14	まとめ		前期授業習得度の確認・前期定期試験		
15	振り返り		回答＆解説		

16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P80～P83
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P83～P85
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス(短期的要因)を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス(長期的要因)を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P124～P135
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石田　祥子		実務経験	○	
実務内容	ヘアサロンにて美容師として6年勤務をした実務経験を基に、美容技術理論を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマッサージ理論		・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技		
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマッサージ		・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント		
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング		・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング		
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマッサージ		・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順		
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ		・メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具　・クレンジング、トローニング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング		
6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション		アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、・ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例		
7	総まとめ		テストを実施する　8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題		

8	<< 11章 日本髪 >> 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	<< 12章 着付けの理論と技術 >> 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプー・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマ・ウェーブ 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセット・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国家試験対策	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社)日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト:80% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	嶋田 律子			実務経験	○
実務内容	美容師養成施設指定規則の通り、関係法規・制度を教えるにあたり必要な資格である中学校教諭1種免許(社会)を取得。教員免許、教員経験により美容師法を分かりやすく説明し、授業展開を行う。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査

13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習(1)	国家試験過去問演習等
29	総復習(2)	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	衛生管理		出版社	社)日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面について理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木 智子		実務経験	○	
実務内容	臨床獣医師として勤務をした実務経験を基に、美容に必要な衛生管理の知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意			
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意			
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意			
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意			
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方			
6	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方			
7	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際			
8	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際			
9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等			
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等			
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制			
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制			
13	まとめ	まとめを実施する。			
14	解説	振り返り・解説			
15	総まとめ	総まとめを行う			

16	公衆衛生	まとめを実施する。
17	公衆衛生	まとめを実施する。
18	環境衛生	まとめを実施する。
19	環境衛生	まとめを実施する。
20	感染症	まとめを実施する。
21	感染症	まとめを実施する。
22	感染症	まとめを実施する。
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学			出版社	社)日本理容美容教育センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識を習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	北脇 尚子			実務経験	○
実務内容	病院で薬剤師として4年勤務、薬局で薬剤師として13年勤務をした実務経験を基に、美容器具や香粧品等に関する科学的知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	イントロダクション 1章 香粧品概論		美容師免許を取得する上での必要性、取得までの流れを説明		
2	2章 香粧品原料		「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習		
3	2章 香粧品原料		「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習		
4	2章 香粧品原料		「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習		
5	3章 基礎香粧品		「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習		
6	4章 メイクアップ用香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品		「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習		
7	まとめ		まとめを行う		
8	5章 頭皮・毛髪用香粧品		「スタイリング剤」の解説と演習		
9	5章 頭皮・毛髪用香粧品		「パーマ剤」の解説と演習		
10	5章 頭皮・毛髪用香粧品		「ヘアカラー」の解説と演習		
11	6章 芳香製品と特殊香粧品		「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習		
12	6章 芳香製品と特殊香粧品		「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習		
13	まとめ		まとめを行う		
14	解説		振り返り・解説		
15	総まとめ		総まとめを行う		

16	付録 香粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習
17	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
20	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
21	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
22	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	宮田 あかね、他1名		実務経験		○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として5年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要なオールウェーブ技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング		この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分		
2	オールウェーブセッティング		1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピンング)、美容師国家試験衛生		
3	オールウェーブセッティング		1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生		
4	オールウェーブセッティング		1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入		
5	オールウェーブセッティング		1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入		
6	オールウェーブセッティング		1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入		
7	オールウェーブセッティング		1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス		
8	オールウェーブセッティング まとめ		オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生		
9	オールウェーブセッティング		7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成計測35～30分、美容師国家試験衛生		
10	オールウェーブセッティング		7段構成計測35～30分 美容師国家試験衛生		
11	オールウェーブセッティング		7段構成30～25分 美容師国家試験衛生		
12	オールウェーブセッティング		7段構成30～25分 美容師国家試験衛生		
13	オールウェーブセッティング		7段構成25分 美容師国家試験衛生		
14	オールウェーブセッティング 総まとめ		7段構成25分 総まとめを実施する		
15	総合授業		前期振り返り		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D・美容実習Ⅱ－E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	宮田 あかね、他1名			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として5年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要なワインディングとカット技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【ワインディング】					
回数	単元		内容		
1	初回授業 オリエンテーションワインディング		この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい		
2	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分		
3	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分、ブロック3ブロック導入		
4	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分		
5	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分		
6	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き30～25分		
7	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分		
8	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全頭巻き25分		
9	ワインディング まとめ		ワインディング・美容師国家試験衛生 全頭計測20分でまとめを実施する		
10	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
11	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
12	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
13	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
14	ワインディング 総まとめを実施する		ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する		
15	総合授業		前期振り返り		

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらいカット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測(カッティングのみ)16分(チェックカット込み)20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ -C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ -C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題　衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5% オールウェーブ:総まとめ20%　まとめ15%　提出物10%　授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	宮田　あかね、他1名			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として5年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験に必要なワインディングとオールウェーブ技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【ワインディング】					
回数	単元		内容		
1	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
2	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
3	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
4	ワインディング まとめ		ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する		
5	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
6	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
7	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
8	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
9	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
10	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
11	ワインディング		ワインディング・美容師国家試験衛生		
12	ワインディング 総まとめ		ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する		
13	総合授業		総合的授業を実施する		
14	総合授業		総合的授業を実施する		
15	総合授業		総合的授業を実施する		

各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カットिंग教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20％ まとめ15％ 提出物10％ 授業態度5％ 各校フリー：総まとめ20％ まとめ15％ 提出物10％ 授業態度5％				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	永島 秀樹、他1名			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として19年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験の美容師国家試験カットについて合格に必要な技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【国家試験カット】					
回数	単元		内容		
1	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
2	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
3	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
4	国家試験カット まとめ		国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する		
5	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
6	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
7	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
8	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
9	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
10	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
11	国家試験カット		国家試験カット・美容師国家試験衛生		
12	国家試験カット 総まとめ		国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する		
13	総合授業		総合的授業を実施する		
14	総合授業		総合的授業を実施する		
15	総合授業		総合的授業を実施する		

各回の展開【国家試験課題】		
回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	永島 秀樹、他1名		実務経験	○	
実務内容	ヘアサロンにて美容師として19年勤務をした実務経験を基に、美容師国家試験のワインディング技術・美容師国家試験カットについて合格に必要な技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
2	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
3	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
4	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
5	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
6	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する		
8	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
9	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
10	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
11	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
12	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
13	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
14	国家試験第1課題・第2課題		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生		
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ		国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する		

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		2 60
使用教材	教本・ゆかた本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))・長襦袢(半衿えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5本セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・着付け2級(5月強制受験 免許強制) ・花嫁着付3級(12月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会				
関連科目					
備考					
担当教員	鶴岡 幸子		実務経験	○	
実務内容	着付け師として勤務をしている実務経験を基に、着付けに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	振袖の着せ方3	考査票の記入、振袖着付を仕上げる(検定対策)			
2	振袖の着せ方4	振袖着付を仕上げる(検定対策)			
3	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)			
4	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)			
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて			
6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する			
7	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知			
8	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ			
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について			
10	座学1	着物のTP0(フリル③④)を学ぶ			
11	花嫁着付内容説明	デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて			
12	花嫁着付1	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する			
13	花嫁着付2	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する			
14	花嫁着付3	補整、長襦袢、掛下の着せ方(衿合わせ)を学び実践する			
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う			

16	花嫁着付4	検査票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方(裾引き)を学び実践する
17	花嫁着付5	掛下までの着付を実践(復習)する
18	花嫁着付6	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19	花嫁着付7	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付8	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
21	花嫁着付9	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
22	花嫁着付10	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
23	花嫁着付11	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付け3級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・袂どり・お掻い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		2 60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会				
関連科目					
備考					
担当教員	鶴岡 幸子、他1名		実務経験		○
実務内容	着付け師として勤務をしている実務経験を基に、着付けに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認			
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する			
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する			
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する			
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する			
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)			
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)			
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)			
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて			
10	検定試験	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する			
11	座学1	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する			
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バージョンを学び実践する			
13	座学2	着物のTP0(プリント③④)について			
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する			
15	総合学習	小紋の着付(お太鼓結び)と総まとめを行う			

16	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、審査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
20	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
21	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
22	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
23	振袖の着せ方8	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
26	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	就職ガイドBOOK			出版社	なし
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける				
到達目標	就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている				
評価基準	テスト:50% 提出物:30% 授業態度:20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考					
担当教員	渡邊 一仁			実務経験	○
実務内容	美容室にて美容師として15年勤務し、大手美容室にて副店長も経験。保健、運営管理の教員資格を有しておりこれらの経験を基に、就職活動に必要な知識を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	就職指導の目的	就職指導を行う目的を理解しスケジュールリングを確認する			
2	企業研究・選定①	希望サロン・職種・企業について調べる・履歴書指導			
3	企業研究・選定②	希望サロン・職種・企業について調べる・履歴書指導			
4	面接対策①	受験に備えての準備・事前確認			
5	面接対策②	(集団・個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施			
6	面接対策③	(集団・個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施			
7	面接対策④	(集団・個人)面接のポイント、面接の流れ、人事担当が見ているポイントを知り、模擬面接の実施			
8	スケジュール管理	時間の使い方を見直しスケジュール管理の仕方を学ぶ			
9	ビジネスメール①	ビジネスメールまたお礼状について知る			
10	ビジネスメール②	ビジネスメールまたお礼状について知る			
11	目標設定①	・5年後、10年後の自分の目標を考える			
12	目標設定②	・プレゼンテーションに向けて内容をまとめる(5年後、10年後の自分)			
13	前期テスト	・プレゼンテーション			
14	前期テスト(一般常識)	・前期筆記テスト			
15	前期振り返り、後期に向けて	・前期の振り返りと後期の自身の就職の動きを考える			
16	総合授業	・総まとめ			
17	自己分析	・自分の強みや得意なこと、好きなことを再確認する(ブランディングについて)			

18	実践ワーク	ケースステディ
19	実践ワーク	現場での電話対応を想定し実践する
20	実践ワーク	現場での受付の仕方を想定し実践する
21	実践ワーク	クレーム対応
22	実践ワーク	・お客様とのトーク内容について考える
23	一般常識	・一般常識プリント
24	テスト準備	・1分トークの内容をまとめる
25	後期テスト(1分トーク)	・1分トーク
26	後期テスト(一般常識)	・後期筆記テスト
27	総合授業	・テスト返却、解答 ・社会人に向けての心構え
28	総合授業	・就職活動についての振り返り
29	総合授業	サロンに必要な知識
30	総合授業	サロンに必要な知識

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		3 90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤、メイク道具			出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	サロンに通ずる基礎応用を学び、美容の楽しさを知る				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	福島僚太・早船真紀			実務経験	○
実務内容	福島僚太:美容師歴7年勤務をした実務経験を基に、ヘア・カラーリングに必要な知識・技術を教授する。早船真紀:美容師・ブライダルヘアメイクに携わり、サロンを運営してきた実務経験を基に、和装メイクやかつら技術を教授すると共に、和装・洋装メイクを教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【各校フリー】					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション／パーマ基礎		講師の自己紹介と生徒の自己紹介、美容師としての心構えなどの話。今後の授業で使うスパイラルパーマの巻き方を練習。		
2	スパイラルパーマ		オンベースで中間からしっかりと巻けるように反復練習。(ポイントひじの角度とパネルを支える手のテンションがぶれないこと。)		
3	スパイラルパーマ,スタイルカット		スパイラルできちんと巻けるようになる。実際にウィッグにかける際の前上がりミディアムレイヤーのベースカット		
4	ウィッグにパーマをかける		前回カットしたウィッグにパーマをかける		
5	フリーデザインパーマ		レングスは自由。(ベリーショートはなし)スタイル構想(ロッド選定、はめ方、カットの展開図)		
6	テスト①		カット、パーマでリアルサロンワークスタイルorクリエイティブスタイル		
7	ブリーチワーク		前回の作品にブリーチをする(ルーツブリーチorハイライト、ポイントカラー)		
8	ブリーチワーク／オンカラー		必要に応じて追いブリーチ。オンカラー(アルカリor塩基系)		
9	コンテストウィッグで作品制作		スタイルの構想を練る。(デッサン、必要なカット技術)		
10	コンテストウィッグで作品制作、小テスト		実際にスタイル作成(フリーデザイン)		
11	ベリーショートデザインカラー、カット		刈り上げやセニング、チョップカットの練習		
12	デザイン構想		パーマ、ブリーチなど自由に使いウィッグを制作する		
13	テスト②		ベリーショートウィッグのフリーデザインテスト		
14	授業振り返り		今まで作った作品をお互いに振り返り、デザインの幅や創る、考える楽しさを認識する。		
15	まとめ		コンテストに向けた構想を考える		

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-B	
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-B	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3 90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト) スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	ユアサポート
科目の基礎情報②				
授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を得習し現場を意識して実践できるようになる。			
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。			
評価基準	・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス(任意)			
関連科目	美容実践Ⅰ-B			
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(特殊・アーティスト・モデルメイク)			
担当教員	園田 めぐみ、他1名		実務経験	○
実務内容	美容部員として2年、トータルビューティーサロン・美容室にてヘアメイクとして3年の勤務をした実務経験を基に、特殊メイクに必要な知識・技術を教授する。			
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】				
回数	単元	内容		
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践		
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践		
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ		
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ		
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ		
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ		
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り		
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う		
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う		
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う		
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う		
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り		
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える		
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える		
15	総合授業	まとめを行う		

各国の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)			出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート
科目の基礎情報②					
授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)、授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10%、授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステシアン、認定ボディエステシアン				
関連科目	美容実践ⅠーC				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)+(ブライダルエステ)				
担当教員	橋本 明美、他1名			実務経験	○
実務内容	エステティックサロンにてエステシアンとして計11年勤務をした実務経験を基に、エステ・メイクに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【ブライダルエステ】					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション ボディエステティックとは		1コマ:教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ:1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ:授業準備・ルールについて、ベッドセッティング		
2	接客マナー(相モデル)		1コマ:ベッドセッティング 1コマ:笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ:基本動作・ベッド誘導		
3	前操作(相モデル)		ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモンストレーション・練習		
4	ボディマッサージ 下肢後面 1		デモンストレーション(塗布から) 手技練習・拭取り練習		
5	ボディマッサージ 下肢後面 2		前操作～ 下肢後面通し練習		
6	ボディマッサージ 下肢後面 3		前操作～ 下肢後面通し練習		
7	ボディ実技試験 成績評価①		ご案内ー消毒ー下肢後面マッサージーふき取りー誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル		
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)		1コマ:1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ:事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ:基本手技・HOTタオルの流れシミュレーション		
9	フェイシャルマッサージ 1		マッサージ導入・デモンストレーション ご案内ーデコルテ1～7(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)		
10	フェイシャルマッサージ 2		マッサージ導入・デモンストレーション ご案内ーフェイシャル1～11(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編Ⅰプリント)		
11	フェイシャルマッサージ 3		クレンジング導入・デモンストレーション ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージーふき取りー整肌		
12	フェイシャルマッサージ 4		通し練習 ご案内ーフェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)ーマッサージーふき取りー整肌ー誘導		
13	フェイシャル実技試験 成績評価②		ご案内ーフェイシャルクレンジングーマッサージーふき取りー整肌ー誘導		
14	マッサージ総合・マスク		1コマ:デモンストレーションマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導		
15	総合授業		総まとめを行う		

各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキシキア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する		
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共にJNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級／JNAジェルネイル検定初級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	教材確認 1年時の復習を行う
	導入・教材チェック 1年次復習	教材確認 1年時の復習を行う
2	1年次復習	1年時の復習を行う
	1年次復習	1年時の復習を行う
3	1年次復習	1年時の復習を行う
	1年次復習	1年時の復習を行う
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップを学ぶ
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級検定技術を学ぶ

7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプチュア実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
9	ジェルスカルプチュア 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	2級の実技通す
11	ジェル検定中級 第二課題	2級の実技通す
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	2級の実技通す
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7～12月				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員			実務経験		
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	プレパレーションデモンストレーション リベア(シルクラップ)デモンストレーション・実技		ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ		
	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技		2級検定について説明し 受験希望者を確認		
	フルメイク/座学		フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
3	チップオン・チップラップデモンストレーション 相モデル		チップによる付け爪の習得		
	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
4	チップオン・チップラップ相モデル		チップによる付け爪の習得		
	フルメイク/座学		フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
5	チップオン・チップラップ相モデル		チップによる付け爪の習得		
	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
6	トリートメントデモンストレーション 相モデル・ケア・トリートメント		サロンワークに必要なトリートメント		
	フルメイク/座学		フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
7	エンボスアート		エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ		
	苦手克服		フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)		
8	エンボスアート		エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ		
	プレ検定		スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする		

9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	ミックスメディアアート	4Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
	錯覚	錯覚について導入、実践
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
	色、質感	色、質感について導入、実践
12	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
	色、質感	色、質感について導入、実践
13	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 JNEC2級検定受験内容に準じる
	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 JNEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		4 120
使用教材	カット道具、メイク道具一式/カットウィッグ		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ヘアショーに向けた基本技術の確認、習得				
到達目標	自分でできるを実感し、ヘアショーで実践。その後の学びへと繋げる				
評価基準	実技40%、課題30%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ－A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	千葉哲也		実務経験	○	
実務内容	美容師歴20年勤務をした実務経験を基に、ヘア・カラーリングに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【教科名】					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		挨拶、自己紹介、最終目標の確認		
2	テクニック		カットⅠ		
3	テクニック		カットⅡ		
4	テクニック		デザインカラー バレイヤージュⅠ		
5	テクニック		デザインカラー バレイヤージュⅡ		
6	テクニック		デザインパーマ ミザンフォルムⅠ		
7	テクニック		デザインパーマ ミザンフォルムⅡ		
8	総合授業		デザインパーマ ミザンフォルムⅡ		
9	総合授業		デザインパーマ ミザンフォルムⅡ		
10	総合授業		ヘアショー準備		
11	総合授業		ヘアショー準備		
12	総合授業		ヘアショー準備		
13	総合授業		ヘアショー準備		
14	総合授業		ヘアショー準備		

15	まとめ	前期振り返り
16	オリエンテーション・シャンプー	この授業の目的・評価基準・シャンプー(席の誘導・お流し)
17	シャンプー2	シャンプー(1シャン)
18	シャンプー3	シャンプー(1シャン～2シャン)
19	シャンプー4	シャンプー(通し)
20	シャンプー5	シャンプー(通し)
21	シャンプー6	シャンプー(通し)
22	AWA-1	シャンプーNo.1決定戦
23	卒業制作準備	卒業制作方法・構成・内容の決定
24	卒業制作準備	チーム分け、デザイン構成、担当決め
25	卒業制作準備	ヘアメイクリハーサル
26	撮影	ヘアメイクデモ(予定)
27	卒業制作準備	最終決定
28	卒業制作	卒業制作
29	卒業制作	卒業制作
30	振り返り	一年の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	①(ヘア)ヘアアレンジテキスト・ヘアアレンジ道具一式 カメラ機材(※各校にて可能な範囲)筆記用具・ノート…ファイル ②(まつ毛)ABE text book(座学)・まつ毛エクステンション用具(実技)		出版社	①ユアサポート ②公益財団法人 理容師美容師試験教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①1年次に学んだ基礎技術を応用しシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする 作りたいヘアメイクのデザインには、どの様なライトやバック紙を選択すれば良いかを知る ②まつ毛エクステンションの知識及び、技術を学ぶ				
到達目標	①・ブライダル知識を身に着け、様々なスタイル技術を習得する ・お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する ・バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る ・様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる ②・理容師美容師試験教育センター(ABE)まつ毛エクステンション分野の協会)主催の検定取得 ・アーティスト、アイデザイナーになるための知識や技術を習得する				
評価基準	テスト50%、出席率30% 授業意欲20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習ⅡーA・B・C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 菜美		実務経験	○	
実務内容	写真スタジオにて成人式、七五三、婚礼等のヘアメイクを担当後、まつげエクステサロン兼スクールにて店長として従事。現在はまつ毛エクステ&ヘアセットサロンを経営しており、これら13年の実務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【教科名】					
回数	単元		内容		
1	ヘアアレンジ	オリエンテーション	オリエンテーション・1年次復習		
	まつ毛	オリエンテーション	授業の流れ、成績付け、到達目標について。		
2	ヘアアレンジ	ビューティーショー①	ビューティーショー準備		
	まつ毛	まつ毛エクステンション概論(座学) ワゴンセッティング(実技)	(座学)概論と用具の解説 (実技)道具の表示について ・道具の確認 教材配布、用具確認		
3	ヘアアレンジ	ビューティーショー②	ビューティーショー準備		
	まつ毛	まつ毛エクステンション用具(座学) 衛生と消毒(実技)	(座学)用具理論 (実技)手指・用具の消毒/事前準備		
4	ヘアアレンジ	ビューティーショー③	ビューティーショー準備		
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)衛生管理理論 (実技)ツイザーの持ち方・姿勢/グルーの取り扱い/J紙での装着		
5	ヘアアレンジ	ビューティーショー④	ビューティーショー準備		
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)衛生管理理論 (実技)ツイザーの持ち方・姿勢/グルーの取り扱い/J紙での装着		
6	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑤	ビューティーショー準備		
	まつ毛	衛生管理(実技) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)衛生管理理論 (実技)ツイザーの持ち方・姿勢/グルーの取り扱い/Jカール装着		
7	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑥	ビューティーショー準備		
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)保健理論 (実技)Jカール装着		
8	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑦	ビューティーショー準備		
	まつ毛	テーピング(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)テーピング理論 (実技)テーピング練習		
9	ヘアアレンジ	ビューティーショー⑧	ビューティーショー準備		
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)保健理論 (実技)テーピング/Jカール装着		
10	ヘアアレンジ	スタイル作り①	列座スタイル①シニョンスタイル		
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)保健理論 (実技)テーピング/Jカール装着		
11	ヘアアレンジ	スタイル作り②	列座スタイル②えり足抱き合わせ		
	まつ毛	リムービング(座学) リムービング(実技)	(座学)リムービング (実技)リムービング		
12	ヘアアレンジ	スタイル作り③	新日本髪		
	まつ毛	カウンセリング(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)カウンセリング理論 (実技)テーピング/Jカール装着/リムービング		

13	ヘアアレンジ	スタイル作り④	テーマに合わせた作品作り(洋髪①)
	まつ毛	保健(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)保健理論 (実技)テーピング/リカール装着/リムービング
14	ヘアアレンジ	スタイル作り⑤	テーマに合わせた作品作り(洋髪②)
	まつ毛	小テスト(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)小テスト (実技)タイムトライアル
15	ヘアアレンジ	総合	総合まとめ
	まつ毛	小テスト(座学) まつ毛エクステンション技術(実技)	(座学)小テスト (実技)タイムトライアル
16	ヘアアレンジ	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク運動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
	まつ毛	まつ毛エクステンション技術(実技)	(実技)セッティング・リカール装着・リムービング
17	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	まつ毛エクステンション技術(実技)	(実技)タイムトライアル
18	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影②	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	復習(座学)	(座学)復習
19	ヘアアレンジ	白バック紙にて撮影③	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
20	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
21	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影②	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
22	ヘアアレンジ	黒バック紙にて撮影③	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
23	ヘアアレンジ	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
24	ヘアアレンジ	野外のロケーションにて撮影②	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
25	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
26	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影②	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
27	ヘアアレンジ	カラーバック紙にて撮影③	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
28	ヘアアレンジ	作品制作①	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
	まつ毛	検定対策(座学・実技)	(座学)(実技)検定試験に向けて対策を行う
29	ヘアアレンジ	作品制作②	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
	まつ毛	検定	検定
30	ヘアアレンジ	総合授業	まとめを行う
	まつ毛	検定	検定

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	①ヘアアレンジテキスト ヘアアレンジ道具一式 ②JNAテクニカルシステム ベーシック・ジェル ネイル用具一式		出版社	ユアサポート NPO法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	①1年次に学んだ基礎技術を応用しシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする ②ネイルについて歴史から始め、ジェルの内容成分まで幅広く知識を学び、同時にジェル検定初級に向けて、基礎的なジェル技術を実践できる				
到達目標	①様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する ②ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC3級・JNAジェルネイル検定初級レベルを習得する				
評価基準	テスト50%、出席率30% 授業意欲20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 (ブライダルヘアアレンジ) + (ジェルネイル)				
担当教員	齋藤 菜美、他1名		実務経験	○	
実務内容	写真スタジオにて成人式、七五三、婚礼等のヘアメイクを担当後、まつげエクステサロン兼スクールにて店長として従事。現在 はまつ毛エクステ&ヘアセットサロンを経営しており、これら13年の実務経験を基に、ネイルに必要な知識・技術を教授する。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開【ブライダルヘアアレンジ】					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		授業内容・ブライダルとは？1年次復習		
2	ブライダル知識		ブライダルヘアメイクの仕事・穴場		
3	ブライダル知識		式の種類・ドレス・ブーケ・ヘッドパーツ		
4	洋装スタイル		洋装ルーズスタイル・編み込み・ツイストスタイル		
5	和装スタイル		和装・面出しスタイル・新日本髪		
6	ビューティーショー①		ビューティーショー準備		
7	ビューティーショー②		ビューティーショー準備		
8	ビューティーショー③		ビューティーショー準備		
9	ビューティーショー④		ビューティーショー準備		
10	列席ヘア①		シニヨンスタイル		
11	列席ヘア②		えり足抱き合わせ		
12	教式スタイル		ダウンスタイル(アイロン)・(ヘアアド込み)		
13	スタイル作り①		洋⇒洋のチェンジ・洋と和の2スタイル		
14	スタイル作り②		課題スタイル／ヘアメイクの道具・心得		
15	スタイル作り③		課題スタイル		

各回の展開【ブライダルネイル】		
回数	単元	内容
1	導入・教材配布・テーブルセッティング	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティングを学ぶ
2	ネイル概論(P8～15) ポリッシュカラーリング 実技	歴史や技術体系を学ぶ ポリッシュの塗り方を学ぶ
3	小テスト ネイル概論(P20～29) カラーリング(相モデル)	相モデルでポリッシュの塗り方を学ぶ
4	ジェルネイル概論 第一課題 相モデル	ジェルに関しての知識を取得する ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
5	小テスト 第一課題 相モデル	ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
6	ジェルカラーリング 実技 オフ 実技	ジェルでのカラーリング方法と、ジェルのオフの方法を学ぶ
7	ジェルアート(ピーコック) 赤ジェル～ピーコック 実技	初級の検定内容になっているジェルアートの技法を学び、練習する
8	第二課題 実技	第二課題をマスターする
9	第二課題 実技	第二課題をマスターする
10	筆記試験 検定説明・初級DVD	筆記試験を行う 検定内容を知る
11	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
12	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
13	実技試験 ジェル検定初級内容	実技試験を行う
14	実技試験 ジェル検定初級内容	実技試験を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①				
授業形態	演習	科目名	サロンワークD	
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4 120
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会
科目の基礎情報②				
授業のねらい	お客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する			
到達目標	サロンで通用する技術を学び、それを実践することが出来るように練習する。 接客やトラブルシューティングまで出来るようにする。			
評価基準	実技試験 30% 筆記試験 30% 小テスト 20% 授業態度・提出物 20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	JNECネイリスト検定3級／JNAジェルネイル検定初級			
関連科目	美容実践Ⅱ-D			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する			
担当教員			実務経験	
実務内容				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります				
各回の展開				
回数	単元		内容	
1	サロンワーク ケア		施術者とお客様という立場での実技練習をする	
2	カラー、アート実技		2級内容のカラー、アート練習をする	
3	ペイントアート実技		2級内容のアート 練習後、作品提出	
4	筆記試験(2級) チップラップ実技		2級内容	
5	実技試験(2級)		2級通し 試験同様、セッティングも仕込みも全て済ませた状態にしておく	
6				
7	筆記対策(初級)		ジェル初級内容	
8	ジェルグラデーション		小テスト	
9	ジェルアート実技(デモ)		様々な技法のジェルアートを学ぶ	
10				
11	ジェルアート作品制作		ジェルを使って作品を制作し、提出する 2週連続授業	
12	ジェルアート作品制作		提出日	
13	ジェルチップオーバーレイ実技 (デモンストレーション)		ジェルチップオーバーレイを学ぶ	
14	ジェルチップオーバーレイ実技			
15	総まとめ		まとめを行う	

16		
17	2級 実技練習	2級実技練習を行う
18		
19	ジェルアート	サロンワークで通用するようなアートを学び、練習する。
20		
21	マシーン ケア	マシーンを使用してケアを練習する
22		
23	マシーン オフ	マシーンでのオフを学ぶ
24	マシーン オフ 実技試験・筆記試験	マシーンオフの実技試験と筆記試験を行う
25	座学 ケア 相モデル	国試のネイル部分の内容とJNAとの違いを学ぶ。
26	筆記試験 カラーリング	前週の内容の筆記試験を行う。
27	ジェル	ジェルネイル技術を行う
28	ジェル 作品制作	作品制作を行う
29		
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ABE text book Assisutant director			出版社	日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステーションの取り扱いや正しい知識技能による装着				
到達目標	まつ毛エクステーション技術者認定試験合格を目指す				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 提出物20% 授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ:教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ:1. ボディエステティックの目的と効果
2	1年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディエステティックとは	1コマ:授業準備・ルールについて(各校) 1コマ:ベッドセッティング
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー(相モデル)	1コマ:ベッドセッティング 1コマ:笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい
4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー(相モデル)	1コマ:基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位
5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	前操作(相モデル)成績評価①	ボディトリートメント流れ 前操作デモ・練習
6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモンストレーション(塗布から) 手技練習・拭取り練習

7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
8	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 4	ご案内ー消毒ー下肢後面マッサージーふき取りー誘導
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディ実技試験 成績評価②	ご案内ー消毒ー下肢後面マッサージーふき取りー誘導 成績評価②
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)	1コマ:1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー(相モデル)	1コマ:基本手技・HOTタオルの流れシミュレーション 1コマ:練習
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモンストレーション ご案内ーデコルテ1～7(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモンストレーション ご案内ーフェイシャル1～11(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う
16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 3	フェイシャルマッサージ通し練習
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 4	フェイシャルマッサージ通し練習
18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 1	クレンジング導入・デモンストレーション ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)ーふき取りー整肌
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 2	クレンジング導入・デモンストレーション ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)ーふき取りー整肌
20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)ーマッサージ・ふき取りー整肌

21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内ーフェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント) ーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内ーフェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)ーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価①	ご案内ーフェイシャルクレンジングーマッサージーふき取りー整肌ー誘導 成績評価①
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 1	1コマ:デモンストレーションマスク塗布・ふき取り 1コマ:通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマスクーふき取りー整肌ー誘導
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 2	通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマスクーふき取りー整肌ー誘導
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価②	通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
30	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う